

「人と企業に選ばれるまち」の実現へ その土台は「日本一市民目線の市役所」

裾野市の未来を拓く、 村田はるかぜ4年間の実行力

1. 財政改革

- ・ 2月13日に財政非常事態宣言を解除
- ・ 市長給与の削減、年間約295万円
- ・ 歳入増加を目指してふるさと納税業務を強化
企業版ふるさと納税は全国1位を記録、一般のふるさと納税は令和6年度に過去最高額を記録(就任時よりおよそ5倍)

2. 市役所人事・組織・行政改革

- ・ 子育て部、デジタル部、こども家庭センターの設置など時代に合わせた組織改編を実施
- ・ 新規採用及び経験者採用の強化による受験者数の増加(教養試験の廃止、ウェブ面接の導入、経験者枠の増設、募集時期の前倒しなど)

3. 社会基盤整備・ライフライン・道路

- ・ 道の駅整備に伴う基本構想の策定及び基本計画策定への着手
- ・ 裾野駅西公園を新設
- ・ 御師公園やせせらぎ公園の整備に着手
- ・ 裾野駅西区画整理完遂に向け予算拡充
- ・ 岩波駅周辺整備の推進
- ・ 裾野インター入口交差点歩道橋の供用開始
- ・ 都市計画道路平松深良線稲荷工区の整備に着手
- ・ 新東名高速道路へのスマートインターチェンジ必要性検討に着手

4. 子育て・教育

- ・ 市独自の子育て世帯向け給付を実施
- ・ 学校環境の整備として市講師やスクールソーシャルワーカーを増員
- ・ 東小学校と向田小学校の統合
- ・ 部活動の地域移行への対応のためNPO法人「アクティブすその」を設立
- ・ 病児保育事業を開始
- ・ 福祉保健会館にこども家庭センター「すこっぷ」を新設

5. 医療・福祉・障がい者支援

- ・ 須山地区でのオンライン診療の実証実験を実施
- ・ 産婦人科や小児科へのオンライン相談を開始
- ・ 障がい福祉向上のため障がい者基幹相談支援センターを開設
- ・ 地域医療の課題解決を行うために医療体制あり方検討会を設置

6. 高齢者・介護

- ・ 50歳以上の带状疱疹ワクチン接種助成を開始
- ・ 多床室の特別養護老人ホーム新設決定
- ・ 認知症施策の実施(チームオレンジ発足等)

7. 防災・防犯・市民安全

- ・ 防犯、安全確保のためLED防犯灯を大幅増設(一部防犯カメラ付き)
- ・ 信号機新設など市内危険箇所や通学路の安全対策を強化
- ・ 被災者支援システムやドローン導入など災害時対応への強化

8. 産業発展・企業誘致・人口増加

- ・ 大手生活用品メーカーの飲料水工場誘致、油圧配管製造会社の本社工場の誘致、立地企業の工場増設に成功
- ・ 市街化区域の適正な土地利用の誘導を図るため「市街化調整区域活用のための基本方針」を策定
- ・ インバウンド後の観光・交流人口拡大を目指すために「観光戦略」を策定
- ・ 地元企業と連携し就職相談会を実施
- ・ トップセールスを実施
立地企業との対話の実施、市外企業へのトップセールス20社以上(毎年)

9. 移動・公共交通・渋滞緩和

- ・ 買い物や通院の市民ニーズに合わせ市内循環線改善
- ・ 高齢者バス・タクシー利用助成の利便性向上を検討

10. ICTの活用

- ・ 市条例手続きのオンライン申請対応率約8割に上昇
- ・ 市民課窓口改革で待ち時間大幅縮減し、市役所の生産性が向上

詳細はWEBサイトをご確認ください
<https://www.murata-harukaze.com>

